

外国籍の子供たちのために 私たちができること

発表者

◎春日大太郎 ○花田イタロ

池淵天音 奥村結奈



1. 探求の背景・目的

私たちにできる
ことはないのか？

2019年から外国人受け入れ **拡大**



出雲市の多国籍の子供が **増加**

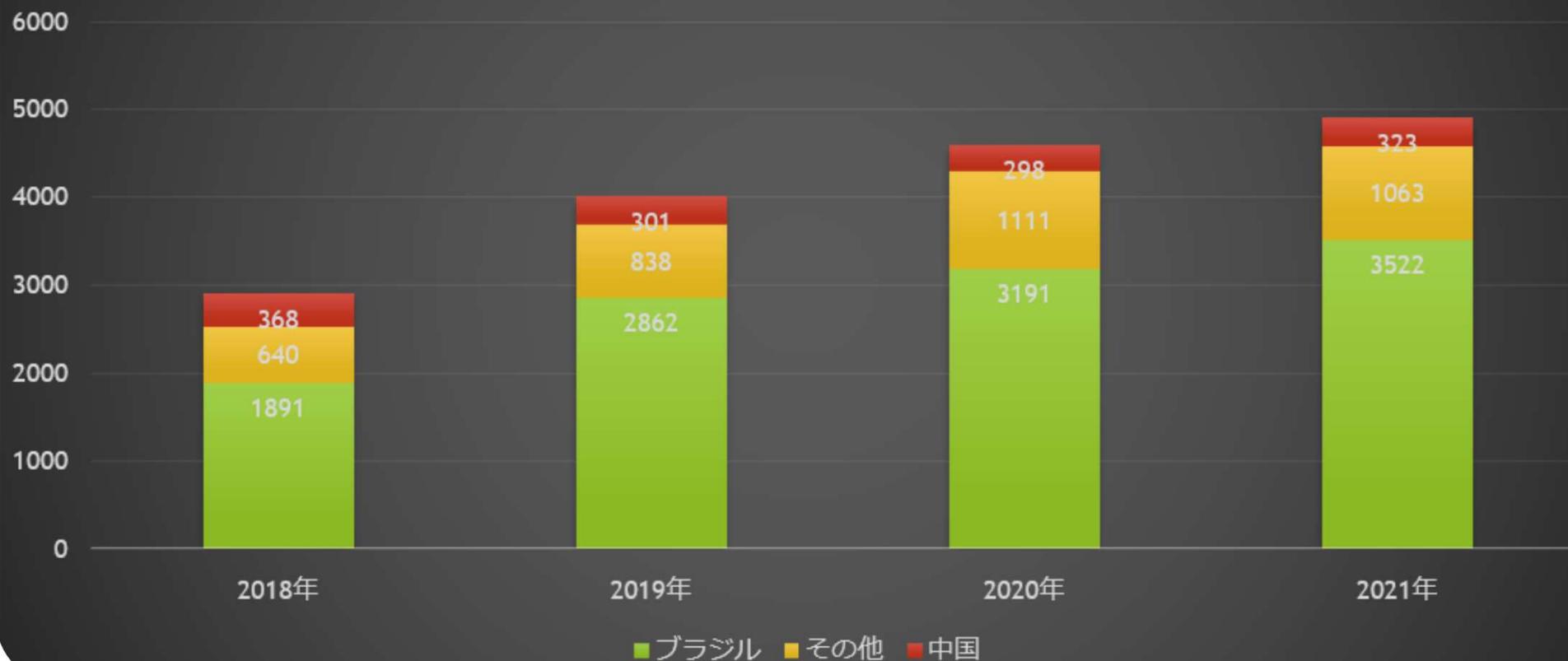


日本の社会に入れないうちがいる（日本人の先入観などで孤立）



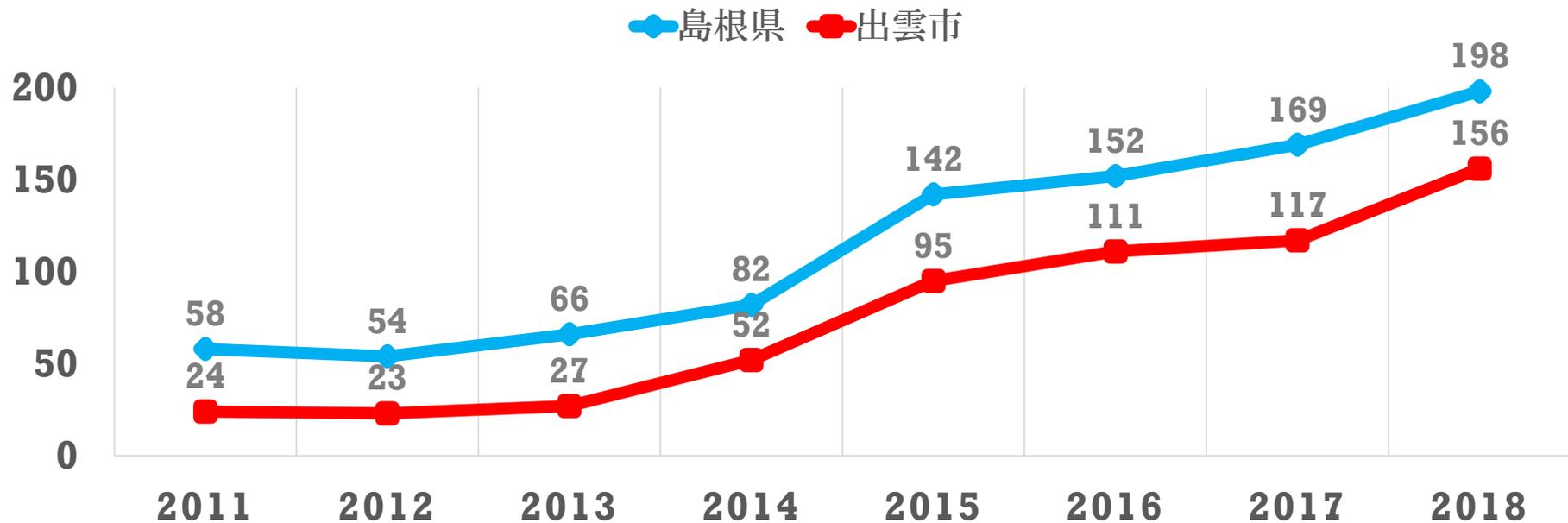
出雲市の現状

外国人推移（人）



出雲市の現状②

日本語指導が必要な児童生徒数の推移



2. 活動の内容

- 9月 中部小学校訪問：授業の様子を見学、先生たちへインタビュー
- 出雲市が行っている活動を調査（インターネットなど）
- 出雲市教育委員会に電話で出雲市の現状などを質問
- 12月 NPO法人エスペランサ主催の 「にこにこ」 を訪問
- 12月末 中部小学校外国児童向けに年賀状作成
- ~~1月中旬 アクティ―斐川体育館でイベント開催~~ → **コロナ感染者数増加により中止**



中部小学校訪



やってみてわかったこと①

- 外国籍の子供が増加しているのに、日本語指導の先生、教室の数が足りない

例) 外国籍 約50人 (40人指導必要)

先生… フルタイム 3名

半日のみ 6名

補助員+通訳 2名

通訳を除くと、

先生1人に対して生徒が4人



文部科学省に質問してみた

■ 外国人児童のためにどういう政策をしていますか？

① 日本語指導の実施

② 就学機会の確保をサポート

③ ICTを生かした日本語指導の促進などをベースにやっています



出雲教育委員会への質疑

Q. 出雲市で支援が必要とされる児童はどれくらいいますか？

A. 令和3年5月では168人がいます。

Q. 小学校で日本語指導を受けられるのは2年間になっている理由は何ですか？

A. 近年子供の数が増加している一方、先生の数が不足しているからです。

A. どういった基準で児童の日本語レベルを分けていますか？

Q. まず児童の日本語能力を図り、それを4段階に分けて指導をしています。

など



「にこにこ」訪問（中部小学校）

人数:2人 ※塩治小学校では20人程度(一緒に活動することあり)

時間分け

15:30～16:00 勉強

16:00～17:30 遊びなど

活動内容

遊びでの交流、宿題の手伝い、お菓子作りなど



活動の様子



ボランティアの方、小学生に質問 してみた！

◆ボランティアの方

Q.何人で活動していますか？

A.今は10人程度で活動をしていて、いつ出るかは相談して決めています。

Q.話すときに工夫していることは何ですか？

A.できるだけ日本語をわかりやすく話せるようにしています。あとは通訳する人がいることもあります。

◆参加者(児童)の方

Q.日本に来てびっくりしたことはなんですか？

A.言語が全然違うのでコミュニケーションが難しかったので、別の世界にいるような感じだった。



年賀状を作ってみた！

- ✓ **目的:** 外国人児童により日本の文化を知ってもらうために作成
- ✓ **工夫したところ:** 漢字にふりがな、「やさしい日本語」利用、ポルトガル語で新年の挨拶を書いてみるなど
- ✓ **作ってみての感想:** わかりやすく書くための表現を考えるのが大変だけど、喜んでくれることを思うと楽しかった



あけましておめでとうございませう。
FELIZ ANO NOVO!



2022年をたのし

あけまして おめでとうございませう
FELIZ ANO NOVO!

2022

年の冬休みを精いっぱい
くださいね

いけいけ あまね

あけましておめでとうございませう。
FELIZ ANO NOVO!



あと少しで2021年が終わります。楽しい年になりましたか?
次の年も楽しませよう。

あたら あと
足立 碧鳥

あけ
F



あと少し
たか? 次の年も元気にがんばってください。

いけいけ あまね

います!



を楽しみにしていますか?

みいようにしましょう!

2021年が終わります。

みましよう!

うが ちかつ
宇田 千長

活動を通して気づいたこと②

- わかりやすく伝えるのが難しい
- 同じ「外国人」でも、日本語理解のレベルに個人差がある
- 外国人同士でコミュニティができてしまう



交流が難しい！(文化や言葉の違い！)



子供の反応、課題

感想

- ◆喜んでもらえた
- ◆ひらがな・ポルトガル語で読みやすかった
- ◆イラストがよかった

課題

- ◆誰からもらったかわからない



他地域の取り組み

- ICTの活用
- 2言語を同時に教える「バイリンガル指導」の実施
- 大学などにデータを共有し、サポート
- 地域企業、NPO団体と連携
- 交流会の開催

など



新2年生に受け継いでほしいこと

- **交流会の開催**
- **言葉の壁を乗り越えるためにできることを考える**
- **日本人の外国人に対する偏見をなくすためになにができるかを考える**
- **ピクトグラムの制作**



引用・協力していただいた方々

- 島根県外国人地域サポーター 堀西雅亮(まさあき)様
- 出雲市多文化共生推進プラン
https://www.city.izumo.shimane.jp/www/contents/1467621853264/files/tabunka_all.pdf
- 令和2年度「帰国・外国人児童生徒に対するきめ細かな支援事業」に係る報告書の概要
- https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/003/001/1417255_00003.htm
- 文部科学省大臣官房総務課広報室
- 文部科学省総合教育政策局国際教育課
- 地方発「外国人住民との地域づくり」 p.183～p.196



ご清聴
ありがとうございました



多文化共生班

